

インタラクティブ空間演習 オリエンテーション

女子美術大学大学院美術研究科博士前期課程デザイン専攻メディア研究領域

1. 「意義ある余暇」としての大学院

a). school の語源 “skhole” (スコレー、ギリシャ語) = 「意義ある余暇」

b). 「閑暇とはたんに暇な時間ではない、また、仕事の疲れを癒す休息でもない。

閑暇は、人間が学問や芸術に専念し、幸福を実現するための、自由で満ち足りた時間である」

(加藤守通「第2講 哲学と教育」、『教育思想史』今井康雄(編)東京：有斐閣アルマ、2009年、46頁。)

2. 担当講師紹介

c). 石井 拓洋 (ISHII, Takuyo), Ph.D.

takuyo.ishii@gmail.com

d). 研究領域

– 音楽文化学研究 (とくに、20世紀アメリカの音楽と文化)

– 作曲家アーロン・コープランド研究 (Aaron Copland, 1900 – 1990)

– 映画音楽研究

– 作曲

e). 論文

– 「アーロン・コープランド：『アメリカらしさ』の革新性と映画音楽への展開」(東京芸大博士論文)，他

3. 〈研究的視点〉を学ぶ、ということ

f). 今日にもとめられる〈研究的視点〉の性格 (西欧近代主義、知の権力、正史、中心性、等への批判)。

g). 〈西欧近代主義〉(western modernism) の批判的検討。

h). 〈実体論〉(substantialism) から〈関係論〉(relationalism) への知の変遷。

i). 〈関係論〉を導いた淵源としての〈言語論的展開〉(linguistic turn)。

j). 今日、むしろ、社会と「かかわらずに」、大学でこそ、学ぶべきことがある。

4. 具体的な授業説明

k). (シラバス参照)

l). 講義資料 Web ページ

<http://www.iiitak.com/ma2017/>

5. 来週 (4/26) の連絡

m). 院試で提出した「研究計画書」を持参すること。

n). 「研究計画書」に基づいて 各自の研究紹介をして下さい (一人約 10 分程度)。